

1. 公益目的事業

(1) 第5回新作日本刀・刀職技術展覧会<公4> 共催：長野県埴科郡坂城町、坂城町鉄の展示館、信濃毎日新聞社
会期：平成26年6月21日(土)～8月31日(日)

会場：長野県坂城町鉄の展示館

後援：(予定)経済産業省、文化庁

授賞：経済産業大臣賞(予定)、(特別賞)長野県知事賞、信濃毎日新聞社賞、NBS長野放送賞、坂城町町長賞他
費用：坂城町 (賞金、賞状、図録作成等一部刀文協負担)

内容：作刀・調金・研磨・刀装等日本刀に係る全ての伝統技術を対象に作品を公募し、厳正な審査を実施、優れた技術を顕彰し、高水準のコンクールとする。

更に、受賞作品を展覧すると共に、作品集やホームページにて広報し、現代の高い技術と日本刀文化をアピールする。

作品受付：平成26年4月23日～26日、作品撮影：4月27日～29日、審査会：5月8日～10日

(2) 第7回刀職者実技研修会<公1>

会期：平成26年8月下旬(予定)の3日間 ((1)の展覧会開催中のイベントの1つとしての扱い)

会場：長野県坂城町中心市街地コミュニティセンター

研修生：5職種各6～8名計約35名を予定

内容：日本刀に係る伝統技術の内、刀身作成・研磨・拵下地・金具作成・柄巻きの5職種を対象に、高度の専門職方を育成する為の技術・知識・意識教育。

同時に講習の妨げにならない範囲で一般に公開し、日本刀及びこれに係る伝統技術の理解に供する。

(3) 日本刀・刀装具鑑賞会、講演会、講習会<公2>

①公開鑑賞会

開催回数：春秋の年2回(原則第1土曜日、13時半～16時)

会場：東京国立博物館

内容：日本刀・刀装具・拵等を公開し、会員に限らず広く鑑賞して貰う機会とする。

②特別鑑賞会(日本刀研究委員会鑑賞会)

開催回数：春秋各2回の年4回(14時半～16時半)

会場：目白庭園赤鳥庵他

内容：会員限定20名程度

(4) 刀匠のまち「坂城」の日本刀文化伝承事業

(文化遺産を活かした地域活性化事業)<文化庁>

[平成25年度文化芸術振興費補助金交付採択額2,678,000円]

①日本刀調査研究事業<公6>

調査結果取り纏め(調査票310先に平成25年10月送付)

②長野県の学芸員の為の日本刀実践人材育成事業<公3>

講義と実技研修、2日間、平成26年2月乃至3月

(5) 出張日本刀講座、手作りペーパーナイフ教室、日本刀をテーマとするイベント等企画立案・コンサルティング(講師等派遣・実演)<公2、公3>

①島根県安来市和鋼博物館の刃物鋼シンポジウム及び刃物祭り(5月2～4日)における講演とペーパーナイフの作成実演指導

②三重県桑名市における日本刀特別鑑賞会“名刀村正が紡ぐ桑名市の歴史”

(開催日2月16日)(桑名市 後援・費用負担)

(6) 米国大学生鍛冶場研修(研修費大学支給)<公5>

宮入鍛冶道場 平成26年2月から4ヶ月間

(7) 海外におけるの日本刀展覧会参画<公5>

①ドバイに於ける日本刀展覧会出品(約30点)

開催2014年秋以降。出品に向け折衝。

②パリに於けるカルティエ財団の日本刀展覧会参画

開催2015年以降。参加に向け折衝。

(8) 第9回お守り刀展覧会(後援)<公4> 主催：全日本刀匠会

内容：全日本刀匠会会員製作の新作刀及び外装の審査・授賞・展覧。

後援内容：後援名義の交付、刀文協関係審査員の派遣等

2. 収益事業

(1) 日本刀・刀装具製作、保存・補修等の受注・受託<収1、収2>